

平成 23 年度笠間市事務事業評価調書

【平成 22 年度実施事業】

会計 区分	一般	実施計画 事務事業	○	重要事務 事業	○
----------	----	--------------	---	------------	---

事務事業概要	総合計画項目		コード	3322		評価区分		所管部課名		課内通番		全通番	
	政策	3.共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり〔健康・福祉〕			☒ 評価事業 ☐ 評価外事業		市民生活部 市民活動課		No.		No.		
	施策(大)	3. 安心して子どもを生み育てることができる環境をつくります									13		
	施策(中)	2. 少子化対策			予算科目	款 総務費		細目名	出会い創出支援事業				
						項 総務管理費							
						目 市民活動費							
	施策(小)	2. 少子化対策推進体制の整備			事業開始年度		事業終了年度		補助単独の区分		事業費(前3年間)		
	事業名	出会い創出支援事業			平成20年度		継続事業		単独		総額		4,490
									補助率(補助の場合)		市費		4,490
													千円
根拠法令	(政策)笠間市出会い創出支援事業助成金交付要綱 いばらき出会いサポートセンター入会助成金交付要綱				関連計画(関係課)		かさまっ子未来プラン(子ども福祉課)						
事業の内容								事業区分		共催者・関係団体			
目的(施策目標)	結婚を望む方に出会いの場を創出する。							☐ 直営 ☐ 委託(含指定管理) ☒ 補助		大好きかさま結ネット 岩間ライオンズクラブ JA茨城中央			
対象	一般市民(未婚の男女)							事業の背景・環境					
手段(インプット)	・出会い事業を実施する団体に助成する。 ・出会いサポートセンターに入会する方に助成する。							「晩婚化」や「未婚化」の状況の中、これから親となる若者へ出会いの場を創出する団体に助成する。 また、結婚相談・仲介事業を行っている「いばらき出会いサポートセンター」への入会に対して助成を行うなど、結婚支援事業を積極的に展開することにより、少子化対策を推進する。					
事業目標(アウトプット)	・出会い事業の開催数 ・出会いサポートセンター入会数												

投入コスト (インプット)	事業費(直接経費) ①	平成20年度決算額	平成21年度決算額	平成22年度決算額
		千円	235 千円	430 千円
	内 訳 (主な経費を記入)	費 円	助成金 費 235,000 円	助成金 費 430,000 円
		費 円	費 円	費 円
		費 円	費 円	費 円
	人件費 ②	0 千円	2,100 千円	1,725 千円
	職員割合(7,500千円/人)	人 0 円	0.28 人 2,100,000 円	0.23 人 1,725,000 円
	職員時間外分	時間 0 円	時間 0 円	時間 0 円
	臨時嘱託(6,200円/日)	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
	非常勤職員(4,500円/日)	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
	他課の協力分	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
	総事業費 ③(①+②)	0 千円	2,335 千円	2,155 千円
	特定財源 ④	0 千円	0 千円	0 千円
	国庫支出金	円	円	円
	県支出金	円	円	円
	その他の収入	円	円	円
	特定財源の根拠			
	市財源事業費 ③-④	0 千円	2,335 千円	2,155 千円

活動指標 (アウトプット)	活動指標名	単位	平成20年度実績値	平成21年度実績値	平成22年度実績値
	出会い事業回数	回		3	4
	サポートセンター入会	人		7	16
	出会い事業回数	回		560,000円/回	345,000円/回
	サポートセンター入会	人		60,000円/人	21,562円/人
	コスト指標の補足説明		出会い事業開催 1,725千円(人件費)×0.8÷4回 サポートセンター入会 1,725千円(人件費)×0.2÷16人		

成果（アウトカム）	成果指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	出会い事業カップル成立数	組		10	26
	指標では表わせない成果		結婚成立数が最終的な指標となるが、プライバシーの問題があり、数値を把握することができないため、出会い事業の開催数及びサポートセンター入会数が成果となる。		
	施策（上位目標）への影響		次世代を担う男女の「出会いの場」づくりを積極的に進めることで、少子化対策を推進する。		
	比較参考値（他団体等）		石岡市 石岡地方結婚相談所運営協議会ふれあいパーティー 参加者 男性27名 女性31名 カップル成立数7組		
一次評価	区 分	評 価	評価理由の説明（※客観的かつ具体的な理由を必ず記載してください。）		
	必要性	☒ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	「晩婚化」や「未婚化」が進む中、いばらき出会いサポートセンターを核として各団体と連携を図り、出会いの場を創出するための事業に行政が支援をすることは必要であり、また、親同士のセミナーの開催、情報交換等を行い、出会いの場づくりの輪を広げていくことも必要である。		
	有効性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	出会い創出のためのパーティーなどの開催に助成することは、参加者の負担軽減や実施団体の負担軽減にもつながることから有効な手段と考えられる。		
	効率性	☐ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☒ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	県のマリッジサポーターとの連携した結婚相談体制が必要とされるが、積極的な連携は行っていない。課題は情報提供と相談であることから、民間団体との連携も視野に相談体制づくりを検討していく。		
その他	事業を廃止した場合の影響		影響の内容とその程度	出会いの場を求めている若者の出会いのきっかけが少なくなる。	
			上記の影響を回避・軽減するための方法	いばらき出会いサポートセンターの出会いの事業を紹介する。	
	評価を向上させるための改善点 （評価がすべて「非常に高い」でない場合に、記載してください。）		情報提供と相談体制づくり。		
	改善により予想される効果		出会いの機会の増加により、結婚数増加が期待される。		
総合評価（担当部長）	今後の方向性	☐ 現行どおり継続 ☒ 改善し、継続 ☐ 休止又は縮小 ☐ 民間に移管 ☐ 廃止 ☐ 事業完了			
	評価理由	早急に結果、実績を求めたいところであるが、改善しながら継続的に取り組んでいくことが肝要である。			
意見	庁議意見				

事業名	出会い創出支援事業
-----	-----------

担当課	市民活動課
-----	-------

1 事業の目的

結婚を望む者が自分にあった相手を見つけることができるよう出会いの場を創出する団体に事業費の一部を助成し、また、結婚相談・結婚仲介事業を行っている「いばらき出会いサポートセンター」への入会に対して助成を行うことで結婚支援事業を積極的に展開し少子化対策を推進する。

2 事業の内容

1. 出会い創出支援事業助成金

- (1) 助成対象団体 市内の団体、企業等で独身の男女が出会うための交流会を開催する。
 (2) 助成金の額 事業費の1/2以内で10万円を限度とする。
 (3) 事業内容 平成22年度

事業名	団体名	助成金	参加者		カップル数
			男性	女性	
農業体験交流パーティー	J A 茨城中央	100,000	16	12	4
フィットパートナーパーティー	岩間ライオンズクラブ	100,000	36	37	15
スイーツバイキングパーティー	大好きかさま結ネット	50,000	20	20	1
ももの節句de雛パーティー	大好きかさま結ネット	100,000	17	19	6
合 計		350,000	89	88	26

2. いばらき出会いサポートセンター入会助成金

「いばらき出会いサポートセンター」の入会金1万円の1/2の5千円を助成する。
 平成22年度は、男性10名、女性6名合計16名に助成した。5千円×16名＝8万円

3 事業の決算状況

○平成22年度決算状況

内 容	金 額 (円)	備 考
負担金補助及び交付金	350,000	出会いのパーティー等の事業を実施した J A 茨城中央、岩間ライオンズクラブ、大好きかさま結ネットへ助成した。事業費の1/2以内を助成。限度額10万円。
	80,000	いばらき出会いサポートセンター入会助成金（入会費1万円の1/2の5千円を助成。）16名に助成した。
合 計	430,000	

4 事業の結果

現在の結婚事情を考えると出会いの場をつくることは重要で、普段男女の出会いの場が少ない職場や生活環境にいる若者には特に重要度は増している。この事業は、まず、結婚を望む若者の出会いを創出することで、多くの男女が知り合うことにより、結婚を後押しすることを目的として助成をしている。

出会い創出のためのパーティーなどの開催に助成することは、参加者の負担軽減や実施団体の負担軽減にもつながることから有効な手段と考えられる。(カップル数は事業内容のとおり)

※結果としての結婚数は把握していない。

結婚支援について茨城県では、「いばらき出会いサポートセンター」を核として、情報収集や相談業務、また、団体等と連携を図り、出会いの場を創出する事業を行っている。結婚は、市内の限られた情報より、県内の広域的な情報収集を行うことで、結婚対象者が多くなることから、いばらき出会いサポートセンターの活用を図ることで、情報・相談を一括して行えることから市での結婚希望者の支援として一部助成を行っている。

「いばらき出会いサポートセンター」に入会した方の統計（笠間市分）

	入会者		助成者		結婚人数	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20年度	25	9	4	1	3	7
21年度	19	22	4	3	2	3
22年度	32	22	10	6	3	8
合計	76	53	18	10	8	18

5 今後の課題・方向性

「晩婚化」や「未婚化」が進む中、民間や行政でも結婚を進める事業の難しさに直面している。出会いの場を創出し、お付き合いを開始しても、最終的には、人と人でありその後の経過を把握しづらく、また、把握をできないことが多い。

課題は情報提供と相談であることから、民間団体との連携も視野にいれた相談体制づくりを検討していきたい。また、市内のイベントを介した「大規模の出会いの場」を創出したり、「恋人の聖地」を活用した出会いの場を設けていきたい。また、独身の子を持つ親同士のセミナーの開催や情報交換等を行い、出会いの場づくりの輪を広げていくことも必要と考えている。

6 その他

7 関係法令

農業体験交流

～グリーンパートナー体験パーティー～

日時 2010年 4月10日(土)

会場 笠間クラインガルテン

参加費 男性:5,000円(税込)

あつきな出会い

まじりくちで育てる...

参加
対象者

25~45才の独身の方
※モテる男のマナー講習会に
必ず参加して下さい。

応募
締切

2010年 3月31日(水)

プログラム(予定) ※雨天時でも問題なし

- 10:00 友部駅集合(送迎バスにて会場まで移動します)
- 10:30 笠間クラインガルテンにてオリエンテーション
- 11:00 タケノコ掘り
- 12:00 餅つき&網焼きバーベキューパーティ
- 16:00 笠間クラインガルテン出発
- 16:30 友部駅到着・解散

お問い合わせ

JA茨城中央 担当:菅谷
〒309-1632 笠間市飯合146

TEL 0296-74-4712

FAX 0296-74-2811

主催:JA茨城中央 共催:笠間市・城里町
茨城県JAグループ

参加申込書

氏名			年齢	歳
住所				
連絡先	※できれば携帯をお願いします			
職業	趣味・特技	ニックネーム		



Fit Partner Club

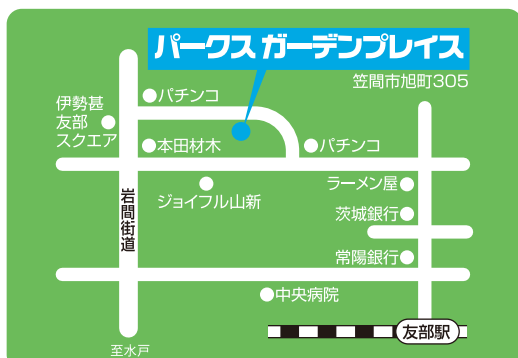
第3回 フィット・パートナー パーティーのご案内

婚活支援



NEW LIFE

日 時 平成 22年 4月 11日(日)
午前 10時 30分より
会 場 パークスガーデンプレイス
募集人数 男女共 各30名 計60名
募集年齢 男女共 20才～45才
募集期間 2月1日～3月末日まで
会 費 男性 ¥3,000
女性 ¥2,000



【参加方法】

別紙、参加お申し込み用紙に記入し、会費を添えてお申し込み下さい。
申し込み順、定員となり次第締め切らせて頂きます。
参加者にはパーティー案内状を開催1週間前に送付致します。

Service Activities

我々ライオンズクラブは、今、社会の課題である日本の人口減少と少子化問題を真剣に受け止め、ライオンズクラブのウィサーブ（奉仕）の精神にのっとり、若者たちへ結婚奨励を勧めております。岩間ライオンズクラブでは、新しい社会奉仕への参加としてフィット・パートナークラブを設立し、これらの活動を行うことで社会に役立つことを願っております。

【お問合せ先】 フィット・パートナー クラブ

笠間市商工会岩間事務所（岩間ライオンズ事務局まで）TEL.0296-45-5711

専用ダイヤル TEL.080-2035-3243



PAX GARDEN PLACE
パークスガーデンプレイス

TEL.0296-78-1122
<http://www.pax-garden.jp/>

おふたりの結婚式のお手伝いを真心込めてサポート致します。また、地域社会から必要とされる企業を目指します。

結婚式を始め各種パーティのご案内、ライフステージのお手伝いさせていただきます。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

■主催 岩間ライオンズクラブ ■後援 笠間市・茨城新聞社・いばらき出会いサポートセンター

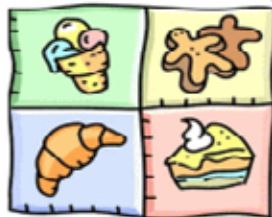
申込No.

40歳以下の独身者

素敵な予感！

♡スイーツバイキング♡

笠間の有名店「グリュイエール」のスイーツが食べ放題！



2010年7月 日()

19:00～21:00(受付18:30～)

於 笠間市下市毛285
笠間駅より徒歩約1～2分

グリュイエール

[大きな地図で見る](#)

会 費：	男 性	3,000円
	女 性	3,000円

7月 日()～キャンセル料
(会費全額)が必要になります

募 集：	男 女	各15名
------	-----	------

<申 込 先>

029-224-8888

受付開始6月 日()

※受付期間は募集開始から約2週間です
(人数に満たない場合は受付期間を
延長します。)※偽りや倫理・マナーに反する行為を
される方のご参加は固くお断りします

主 催 大好きかさま結ネット

共 催 いばらき出会いサポートセンター / 水戸市三の丸1-5-38
共 催 茨城県

「素敵な予感！スイーツバイキング」 企画書

	(申込 No.)	素敵な予感！スイーツバイキング			
7/28(水)	笠 間	於 グリュエール			
		笠間駅から徒歩 1 分			
主 催	大好きかさま結ネット	19:00～21:00		受付開始	男女各 15 名 (カップル成立者には、 素敵なプレゼントを！)
共 催	いばらき出会いサポート センター(茨城県)	会 費			
		男性	3,000		
		女性	2,000		
					Tel 029-224-8888
					40 歳以下の独身者

1. 開 催 日
2. 参加対象者
3. 参加費用
4. 当日スケジュール

平成 22 年 7 月 28 日 (水)
19：00-21：00
40 歳以下の独身者
男女とも各 20 名
計 40 名
男性 3, 000 円
女性 2, 000 円
(当日徴収)
18：45 受付 (玄関入口にて)
— ウェルカムドリンク —
19：00 自己紹介タイム
19：20 スイーツバイキング
20：00 ゲームタイム
21：00 終了
5. 実施体制
6. 募集方法
7. 予 算

主催：大好きかさま結ネット
共催：いばらき出会いサポートセンター
いばらき出会いサポートセンターの専用サイトからの申し込みによる。
1 5 万円 < 会費 10 万円, 市補助金 5 万円 (参加者の飲食代・事務経費) >

平成 23 年度笠間市事務事業評価調書

【平成 22 年度実施事業】

会計 区分	一般	実施計画 事務事業	重要事務 事業	○
----------	----	--------------	------------	---

事務事業概要	総合計画項目	コード	5332	評価区分	所管部課名	課内通番	全通番
	政策	5.人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕		☒ 評価事業 ☐ 評価外事業	市民生活部 市民活動課	No.	No.
	施策(大)	3.個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます					14
	施策(中)	3.国際化		予算科目	総務費 総務管理費 市民活動費	細目名	青年海外派遣事業
	施策(小)	2.交流事業の推進		事業開始年度	事業終了年度	補助単独の区分	事業費(前3年間)
	事業名	青年海外派遣事業		平成21年度	継続事業	単独	総額 8,684 市費 6,000 千円
	根拠法令	(政策)笠間市青年海外派遣実施要領		関連計画 (関係課)			
	事業の内容				事業区分	共催者・関係団体	
	目的 (施策目標)	青年を海外に派遣し、訪問する国の視察や体験学習を通して、国際感覚・国際理解の精神を養う。			☐ 直営 ☒ 委託(含指定管理) ☐ 補助		
	対象	市内在住、通学、市内に住所がある高校生、大学生			事業の背景・環境		
手段 (インプット)	夏休み期間中、中国に高校生、大学生を対象に6名を派遣し、研修事業を実施する。			笠間市の青年を発展著しい中国に派遣し、体験学習や現地青年との交流により国際的視野を広め、海外での日本の役割や国際感覚・国際理解の精神を養い外国人と共生できる人材を育成する。			
事業目標 (アウトプット)	・研修事業報告書の作成及び配布件数 ・研修事業報告会数						

投入 コスト (イン プット)		平成20年度決算額			平成21年度決算額			平成22年度決算額		
	事業費(直接経費) ①	千円			1,122 千円			1,562 千円		
	内 訳 (主な経費を記入)	費	円		海外派遣委託 費	1,065,428 円		海外派遣委託 費	1,495,090 円	
		費	円		費	円		費	円	
		費	円		費	円		費	円	
	人件費 ②	0 千円			3,000 千円			3,000 千円		
	職員割合(7,500千円/人)	人	0 円		0.40 人	3,000,000 円		0.40 人	3,000,000 円	
	職員時間外分	時間	0 円		時間	0 円		時間	0 円	
	臨時嘱託(6,200円/日)	人 日	0 円		人 日	0 円		人 日	0 円	
	非常勤職員(4,500円/日)	人 日	0 円		人 日	0 円		人 日	0 円	
他課の協力分	人 日	0 円		人 日	0 円		人 日	0 円		
総事業費 ③(①+②)	0 千円			4,122 千円			4,562 千円			
特定財源 ④	0 千円			1,122 千円			1,562 千円			
国庫支出金	円			円			円			
県支出金	円			円			円			
その他の収入	円			1,122,000 円			1,562,000 円			
特定財源の根拠	元気かさま応援基金から繰り入れ									
市財源事業費 ③-④	0 千円			3,000 千円			3,000 千円			

活動指標(アウトプット)	活動指標名	単位	平成20年度実績値	平成21年度実績値	平成22年度実績値
	派遣事業応募者	人		10	12
	派遣事業応募者	人		112,200円/人	130,166円/人
	コスト指標				
コスト指標の補足説明	派遣者コストは、事業費÷応募者数				

成果（アウトカム）	成果指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	派遣者		人		6	6
	目標達成率		%		100	100
	指標では表わせない成果		この事業は、青年を海外に派遣し、訪問する国を視察や体験学習を通して視野を広め、国際感覚・国際理解を深め、地域において外国人と共生できる人材育成を目的としている。派遣後、学校生活で積極的に活動している姿が報告されてきている。			
施策（上位目標）への影響		国際的視野を持ち地域において外国人と共生できる人材を育成することで、国際交流を促進する。				
比較参考値（他団体等）		守谷市青少年海外派遣事業 ドイツ連邦共和国マインブルク市 12日間 募集人員11名（中学1年生から高校3年生） 参加者負担金約17万円				
一次評価	区 分	評 価		評価理由の説明（※客観的かつ具体的な理由を必ず記載してください。）		
	必要性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		この事業は、ふるさと寄附金事業で運営されている事業ある。当市は観光都市としてのイメージがあり、若い人たちが国際感覚を身につけることは必要なことであり、市内の大学・高校生を海外に派遣し異文化に触れ、交流を行うことで、国際感覚、国際理解が養われ、外国人との共生という点で推進すべき事業と考えられる。		
	有効性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		多くの学生は派遣できないが、公募制で実施しており、この事業に参加する意志や目的が明確である者は費用を掛けずに海外での体験学習などに参加することからある程度有効な事業と考えられる。		
	効率性	☒ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		事業は旅行会社に委託して行われるため効率的に行われている。		
その他	事業を廃止した場合の影響		影響の内容とその程度 上記の影響を回避・軽減するための方法	青年が海外で国際感覚を身につける貴重な機会が失われる。 国・県・法人等で実施している海外研修の情報を提供する。		
	評価を向上させるための改善点（評価がすべて「非常に高い」でない場合に、記載してください。）		派遣者が笠間市に貢献していくようなしくみが必要である。			
	改善により予想される効果		海外での日本の役割や国際感覚・国際理解の精神を養い外国人と共生できる人材の育成が期待される。			
総合評価（担当部長）	今後の方向性	☐ 現行どおり継続 ☒ 改善し、継続 ☐ 休止又は縮小 ☐ 民間に移管 ☐ 廃止 ☐ 事業完了				
	評価理由	寄付者の意向も反映し、国際人として地域に貢献して行くことが期待できる。				
意見	庁議意見					

事業名	青年海外派遣事業	担当課	市民活動課
-----	----------	-----	-------

1 事業の目的

笠間市の青年を海外に派遣し，訪問する国の視察や体験学習等を通じて視野を広め，海外での日本の役割や国際感覚・国際理解の精神を養うとともに，ふるさと笠間市についても理解を深め，地域において外国人とも共生できる人材を育成することを目的とする。

2 事業の内容

1. 派遣事業の概要

- (1) 派遣国 中国（上海市，蘇州市）
- (2) 派遣期間 平成22年8月17日（火）から23日（月）までの7日間
- (3) 派遣人員 6名（大学生1名，高校生5名） 随行者1名（市民活動課）
- (4) 研修
 - ◆事前研修3回 不二製油関東工場（岩間工業団地内）視察，中国人留学生による中国事情研修
 - ◆派遣研修
 - ①茨城県上海事務所 ②上海旭洋緑色食品 ③不二製油張家港
 - ④上海市甘泉外国語中学 ⑤上海坂井塑料成形 ⑥上海万博 ⑦刺繍体験
 - ⑧上海市視察 ⑨蘇州市視察
 - ◆事後研修2回 報告書作成

3 事業の決算状況

○平成22年度決算状況

内 容	金 額 (円)	備 考
報償費	7, 0 0 0	事前研修講師謝礼
旅費	4 3, 4 0 0	成田空港送迎，随行者旅費
需用費	1 1, 5 1 0	研修事業報告書用紙他
委託料	1, 4 9 5, 0 9 0	入札により海外派遣業務を旅行会社へ委託
使用料及び賃借料	4, 1 0 0	成田空港駐車場利用駐車料金
合 計	1, 5 6 1, 1 0 0	

4 事業の結果

この事業は、ふるさと寄附金で運営されている事業であり、寄付者の若者に対する人材育成の考え方を反映させる形で事業を実施している。

笠間市は茨城県内では随一の観光都市で、若い人たちが国際感覚を身につけることが必要であり、市内在住の大学生・高校生を海外に派遣し異文化に触れて、異国人と交流を行うことで、国際感覚、国際理解が養われることから、外国人との共生という点で推進すべき事業と考えられる。

事業としては6人程度の学生に限られ、多くの学生は派遣できないが、公募制で実施しており、この事業に参加する意志や目的が明確である者は、参加負担金なしで海外での体験学習などに参加できることから、国際理解、国際化に向けた人材育成という点で、ある程度有効な事業と考えられる。

5 今後の課題・方向性

参加者には、この経験を活かし、将来、国際理解のある人材として活躍を期待する。

この事業は寄付により実施しているものであり、寄付者は笠間市出身で、若いときにブラジルで仕事を行い、起業して中国深センに自社工場、フランスに関連会社があることから、寄付者の意向として中国での体験学習を望んでいる。過去2回の事業は、大学生・高校生を中心として事業を進めてきたが、今年度は、体験学習を中心とする研修を今まで以上に意識して実施することとして、笠間市在住の若い社会人（30歳以下・大学生を含む）を中心とした事業として、2月下旬ごろに実施予定。

また、現在は、中国を派遣先としているが、寄付者は、将来はフランスの関連企業を活かした派遣事業も可能であると言っており、派遣先についてはフランス等での実施も検討していきたい。

6 その他

7 関係法令

1. 研修生

◆派遣団員： 6名

筑波大学 理工学群社会工学類1年
笠間高等学校3年 2名
岩瀬高等学校2年
竹園高等学校1年
水戸第三高等学校1年

◆随 行 員： 1名

笠間市 市民活動課 職員



市長講話



不二製油(株)関東工場

2. 事前研修 / 事後研修

(1) 事前研修 - A

[日時]

平成22年 7月10日(土)

9:30~12:00

[場所]

笠間市役所3階 会議室

[内容]

自己紹介／団長選出

青年海外派遣事業概要説明

海外渡航手続き説明

研修目標の設定 など

[場所]

笠間市役所2階 中会議室

[内容]

結団式(市長講話)

不二製油(株) 関東工場の視察

テーマ別研修の協議

渡航の最終確認 など

(2) 事前研修 - B

[日時]

平成22年 7月24日(土)

9:30~12:00

[場所]

友部公民館2階 創作室

[内容]

渡航手続き等の確認

テーマ別研修の協議

中国人講師による講演 など

(4) 事後研修 - A

[日時]

平成22年 8月28日(土)

9:00~12:00

[場所]

笠間市役所2階 大会議室

[内容]

健康確認

研修のまとめ など

(5) 事後研修 - B

[日時]

平成22年 9月11日(土)

9:00~12:00

[場所]

笠間市役所2階 小会議室

[内容]

研修のまとめ

解団式

(3) 事前研修 - C

[日時]

平成22年 8月9日(月)

9:00~15:00

3. 中国研修スケジュール

日数	月 日	曜日	摘 要
1	平成22年 8月17日 (上海市 泊)	火	笠間市役所に集合 成田空港→ 浦東空港→ 上海市 ホテルチェックイン後、市内観光、夕食 翌日の説明後、解散
2	8月18日 (上海市 泊)	水	<テーマ：海外に拠点を置く日本企業を知ろう> 茨城県上海事務所訪問 上海旭洋緑色食品 工場見学 不二製油張家港上海プラザ 見学
3	8月19日 (上海市 泊)	木	<テーマ：文化を学び、交流しよう> 上海市甘泉外国語中学で語学交流 上海坂井塑料成形 工場見学 上海市内視察（豫園など）
4	8月20日 (上海市 泊)	金	<テーマ：上海万博> 上海万博の視察
5	8月21日 (蘇州市 泊)	土	<テーマ：歴史と世界遺産探訪> 蘇州へ移動 拙政園、寒山寺、留園等の視察 刺繍研究所で刺繍体験及び見学
6	8月22日 (上海市 泊)	日	<テーマ：水の都探訪、研修のまとめ> 周庄、朱家角へ移動 (古い水の都の視察) 研修のまとめ
7	8月23日	月	ホテル→ 浦東空港→ 成田空港 一路、笠間市へ 笠間市役所で解散

4. テーマ別研修報告 ※6テーマ（個人）で報告・・・1テーマ抜粋

VI. 中国における日本ブランドと知的財産権について

筑波大学理工学群社会工学類1年 S

(1) はじめに

今回、私は中国へ旅立つ前に、この青年海外派遣における自由テーマとしてこの「中国における日本ブランドと知的財産権」というテーマを設定した。というのも、経済発展の著しい中国市場における「日本企業・日本ブランドの実態」とテーマパークのマスコットや上海万博の公式テーマソング^(*)などでなにかと話題の「知的財産権」について単純に興味があったからだ。しかし、出発前に私自身の根底にあった認識・固定観念は良い意味でも悪い意味でも覆されることとなり、日本に帰国するころには、このテーマを扱うことに対して単純な興味だけではなく、使命感のようなものが生まれてきた。私が持ち始めた新たな認識を多くの人に発信したいと考えたからである。

(2) 中国市場における日本ブランド

JALの飛行機から降り立ち、高層ビルの並ぶ上海の街を少しばかり散策したが、自らの認識に反する事実を如実に感じる事ができた。日本企業・日本ブランドの看板や広告をほとんど見つけることが出来ないのだ。発見できた日本企業の広告は建設会社のものだけであった。逆によく見つけることが出来たのは韓国の有名家電メーカーの広告だった。私の認識では日本のトヨタ、日産などの自動車メーカーやSONYやPanasonicなどの家電メーカーの看板や広告がちらほら見られるものだと思っていた。しかし、現状はまったく異を決しており、中国市場での日本企業・ブランドの占有率は思ったよりもはるかに低いレベルであることが伺えた。茨城県上海事務所の方の話によると、自動車に関して言えば海外ブランドでは最近ドイツを抜いて市場占有率第1位になったらしい。いわれてみれば上海市内を走っている自動車はトヨタや日産、マツダ、スズキなど多くの日本ブランドが確認できた。

日本ブランドといえば自動車や家電ばかりではない。コンビニエンスストアなどの小売業、そしてそこに並ぶ飲食料品なども日本が世界にアピールできる日本ブランドである。ただし、中国のコンビニ事情は日本とは少し違っていた。日本ではセブンイレブンが圧倒的な占有率を保持しているが、上海市内ではセブンイレブンの姿をあまり確認することはできなかった。そのかわり、日本では占有率第2位、第3位のファミリーマートとローソンが多く見られ、上海市内でも日本国内と同じように人々の生活に根付いていた。逆にコンビニというくくりで言えば中国企業による、いわゆるチェーン店のような店はほとんど見受けられず、個人商店の方が多かった。しかし今後、中国の平均経済レベルが上がってくれば個人商店からコンビニエンスストアへのシフトは避けられないと考えられるため、現段階でここまでの占有率を誇っていれば中国市場での日本のコンビニ事業は明るいと思われる。

次にそのコンビニで売られている商品についてだが、ここにも日本ブランドは存在していた。麒麟の「午後の紅茶」などの飲料水や日清の「どん兵衛」などのカップラーメンはほぼ日本

を含めた海外ブランドで占められていた。ただ、ここで気になったのが同じ商品であるのもかわらず、中国国内製造版と海外からの輸入版の2種類が販売されていたのだ。価格は輸入版のほうが国内製造版の2倍ほどの価格で販売されていた。陳列されていたそれぞれの個数に違いはなかったので、双方に同じくらいの需要が存在するようだった。やはり上海は外国人が多いせいか、中国商品に対する不安があるように伺えた。私は中国国内版の午後の紅茶とコカコーラを飲んだが、日本で売られているものと違いを感じることはできなかった。

4日目に行った上海国際万国博覧会では、日本産業館があり、各企業が自社の商品・サービスをアピールしていた。ここでは今話題の「COOL JAPAN!!」^{(*)2}を前面に出した内容となっており訪れる人々の興味をさらっていた。この日本産業館^{(*)3}をみると「やっぱり日本の企業はすごい!!」と感じずにはいられなかった。つまりこんなにすばらしいクオリティを創出できるのに、日本の企業があまり中国市場に浸透しきれないのはコストの壁がまだまだ大きいのだと感じた。



(左の写真は日本産業館に参加していた企業)

(3) 中国における知的財産権

次に知的財産権についてだが、研修前の私の認識はどうだったかというと、中国は上海も含めほぼ無法地帯であるぐらいの認識を持っていた。しかし、上海に関して言えば表面的にはそんなことはなく、以前ニュースで話題になったようなマスコットキャラの模倣品や、漫画「島耕作シリーズ」^{(*)4}にでてくるような企業名の模倣品なども確認することができなかった。むしろ私のほうが躍起になって探してしまったように思う。

中国もすべてにおいて知的財産権の意識が低いというわけではない。というのも中国では超有名キャラクターである上海万博のマスコットキャラクターである「ハイパオくん」(下記の写真は万博で買ったハイパオくん)の模倣品は全く見られなかったのだ。つまり、中国国内でも上海万博のマスコットキャラクターに対してはある程度の節度を持っているということと感じた。

日本で知的財産権に最も関係あるものの一つとして挙げられるのは漫画やアニメをはじめとするキャラクター・コンテンツ産業であろう。[COOL JAPAN!!]の代名詞であり、今後、日本で最も重要な産業の一つになるのは確



実である。模倣品が多いのは一部のことだが、黙認しておくといつまでも知的財産権の意識は育たない。今後、こういった産業を手広く世界で展開していくためには小さなことにもきちんと対処する姿勢をみせなければならない。今回、中国という地で知的財産権について考え、そう感じた。

(4) まとめと日本および笠間市のこれから

現在、日本企業・日本ブランドは一部では健闘しているところもあるが、トータルで見れば中国市場でかなり苦戦している状況であろう。その原因は価格設定、品質へのこだわり、知的財産権への対応の不備、円高の影響、国レベルでの政治的関係悪化など様々である。われわれの世代は小さいころから「日本の技術・製品はすごい!!」と言われ続けて育ってきた。確かに工業製品から生鮮食料品、サービスに至るまで日本のクオリティはすごい。しかし現状は韓国に肩を並べられ、先を越されてしまいそうな状況である。クオリティが高すぎてガラパゴス化^(※)が進んだのも否定できない。昔の輝きにしがみついてもいけないのだ。

しかし、一体これから具体的にはどうすればよいのだろうか。これから日本は自らの長所を見極め、それを売り込んでいかなければならない。その意味では「COOL JAPAN!!」を前面に出した上海万博の日本産業館は正しい方向性であるといえる。前述したとおりキャラクター・コンテンツ産業は現在最も勢いのある分野であり、つまり日本の長所である。たとえば、ほかに中国に売り込む分野を挙げるならば、これからは鉄道技術であろう。中国はこれからどんどん鉄道が発展していくだろう。中国政府からも資金が流れるに違いない。そこに日本の企業が入れ込めれば技術を生かすチャンスも、成功するチャンスも大いにある。現に上海はすでに地下鉄がかなり発展していて、長さの合計は東京を超えるだろう。さらにリニアモーターカーも走っている。中国における鉄道の建設業は大変ホットな分野なのだ。



(地下鉄の切符とリニアモーターカー)

今後、笠間市が発展していくためにも同様のことが言える。自らの長所を的確に認識しアピールできるかがポイントだ。笠間市には「笠間稲荷、笠間焼、合気道などの伝統文化」や「常磐線と水戸線の両路線の沿線であること」、「常磐自動車道と北関東自動車道の沿線であること」、「農業に適した土地であること」など長所がたくさんある。例に出したような長所を生かすとすればそれは観光業しかない。茨城県でこんなにも交通アクセスの恵まれている場所も珍しい。しかし、観光業に不可欠な要素が決定的に欠けている。それは有名な「ご当地グルメ」の存在である。今

話題のB級グルメ^(※6)のような広告力のある料理や食材が存在すれば集客率もぐんと上がるはずだ。また、農業に適した土地をアピールするために農業に興味のある芸能人に畑を提供することも一つのアイデアである。

(5) おわりに

企業レベルでも、国レベルでも、市町村レベルでも、いかに自らの長所を適確に認識し、それをブランド化ないし、知的財産化することが今後発展していくために必要なことであると感じた。それは個人レベルでも同様であり、自分は何が得意なのか、他人から何を求められているのかを適確に判断し、努力していくことが成長につながるのだと思う。このテーマを設定し、調べ、考えたことでわかったことは、日本企業のことや知的財産権のことなどもそうだが、それ以上に今後の私自身の人生において大事なことを得られた。このことが一番の収穫である。力不足かもしれないが、このレポートを読んでもくれた人がこの一番の収穫に少しでも共感してくれれば大変幸いである。

〈脚注〉

- * 1…上海万博のPRソングが、日本のシンガーソングライター、岡本真夜さんの楽曲「そのままの君でいて」の盗作ではないかとの疑惑が浮上し、その後アレンジであることを上海万博側が公式に認めた。岡本真夜さんにきちんと使用許可をとり、騒動は終息した。
- * 2…今、世界中（主にヨーロッパ）で盛り上がっている日本の風習や伝統文化、あるいはマンガやアニメなどのキャラクター・コンテンツ産業を賛美する傾向。Kawaiiの文化などもこれに含まれる。
- * 3…上海国際博覧会に出展中の民間企業・自治体のパビリオン。日本政府が出資し製作した日本館とは異なる。
- * 4…弘兼憲史による日本の漫画。シリーズ作品に「部長島耕作」「取締役島耕作」「常務島耕作」「専務島耕作」「社長島耕作」「ヤング島耕作」「係長島耕作」があり、日本経済の動向、大企業間の競争、大企業内部の派閥争い、経済活動の末端で働くサラリーマン（特に団塊の世代）の群像の様々をリアルに活写したもので、サラリーマン層を中心に好評を博した
- * 5…生物の世界で言うガラパゴス諸島における現象のように、文化・制度・技術・サービスなどが日本の市場において独自の進化を遂げ、世界標準から掛け離れてしまう現象のことである。技術的には世界の最先端を行きながら、諸外国では全く普及していない日本の携帯電話の特異性を表現するために登場した新語である。
- * 6…贅沢でなく、安価で日常的に食される庶民的な外食のことである。いわゆるご当地グルメにはB級グルメが多い。郷土料理とは違い農山漁村とのつながりが薄く歴史も浅いため、売り出しが容易な町おこしの材料としてB級グルメが利用されることが多い

（脚注は一部 Wikipedia を引用）

5. 海外研修見聞記 ※全員掲載・・・1名抜粋

顔写真

団 長

S（筑波大学 理工学群社会工学類1年）

今回の中国研修をまとめると私は次の二つのキーワードが真っ先に浮かんできます。それは「無知の恐怖」、そして「人とのつながり」です。

研修前、私はさまざまなものに非常に偏ったステレオタイプを持っていました。それは「中国にはコピー商品が溢れている」「共産主義のため自由がない」「万博の日本館はすごい、北朝鮮館は意味不明」「中華料理はものすごく美味しい」などです。しかし決してそんなことはありませんでした。上海、蘇州に限ればコピー商品はそれほど溢れているわけではなく、共産主義を感じる場所は万博にいた特別警察くらいでしたし、万博の北朝鮮館は他国並みの水準ではあったし、中華料理も私がイメージしていたような料理ではありませんでした。まだまだ同じようなことは数え切れないほどあったと思います。ここで気づかされたのは「無知の恐怖」です。人は知らないこと、経験していないことについては過度な偏見やステレオタイプ、イメージで判断しがちです。今回の研修で私は私自身がそういった類の人間であることを痛感しました。そしてそれは大変危険なこと、恐ろしいことです。私はこれまでの人生でどれほどの人を、物を、ステレオタイプだけで判断・評価してきたのでしょうか？きっと1000や2000では決して収まりきらないでしょう。もしかしたらすべての物事を色眼鏡で見てきてしまったのかもしれませんが。そのために失ってしまったものも数え切れないと思います。その反省を生かし、これから我々が正しい判断・評価をしていくためには、（完全にというのは不可能だとしても、）少しでも色眼鏡をはずす努力をしていかななくてはなりません。そのためにはさらに様々なことを見て、聞いて、経験することが大事であると感じました。これが第1のキーワードです。

次に第2のキーワード「人とのつながり」ですが、これは単純に「この研修を通してすばらしい人々と出会えた」、ということです。市の職員の方々、訪問先の方々、今回の研修に同行してくれた方々など、出会いは数え切れません。特に今回一緒に研修を行った5人の仲間たちとの出会いは、私の人生のかけがえのない財産です。「一期一会」という言葉がありますが、私にとって今回の出会いは良くも悪くも私に大きな影響を与えてくれました。今回の出会いを通して「一期一会」の意味を再確認したと思います。頼りない団長でしたがみんな支えてくれてありがとう！！

MEMO

[illegible]

平成 23 年度笠間市事務事業評価調書

【平成 22 年度実施事業】

会計 区分	一般	実施計画 事務事業	○	重要事務 事業	○
----------	----	--------------	---	------------	---

事務事業概要

総合計画項目		コード	2114		評価区分		所管部課名		課内通番		全通番	
政策		2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕			☒ 評価事業 ☐ 評価外事業		産業経済部 商工観光課		No.		No.	
施策 (大)		1. 笠間を体感できる観光・産業を振興します			予算科目	款 商工費		細目名	観光PR戦略事業			
施策 (中)		1. 観 光				項 観光費						
						目 観光振興費						
施策 (小)		4. 観光PRの充実			事業開始年度		事業終了年度		補助単独の区分		事業費(前3年間)	
事業名		観光PR事業			H21		継続事業		単独		総額 17,403	
									補助率(補助の場合)		市費 16,973	
											千円	
根拠法令		政策			関連計画 (関係課)		笠間市観光振興基本計画					
事業の内容							事業区分		共催者・関係団体			
目 的 (施策目標)		笠間の知名度アップと新規観光客の増加のために、通年滞在型の観光振興を目指し、更に観光関連団体との連携により地域経済の発展を図るために観光戦略を展開する。				☒ 直営 ☐ 委託(含指定管理) ☐ 補助		笠間観光協会				
対 象		観光客				事業の背景・環境						
手 段 (インプット)		観光パンフレット作成 首都圏PR ホームページ キャンペーン 研修会開催				通年で行われるイベント、特に春のつつじまつり・秋の菊まつりを旅行会社・新聞社・放送局等を訪問し、PRすることにより観光客の誘客を図っていく。 茨城空港の開港や北関東自動車道の全線開通により、首都圏ばかりでなく、上信越方面へのPRを展開する。						
事業目標 (アウトプット)		入込観光客数										

投入コスト（インプット）	平成20年度決算額		平成21年度決算額		平成22年度決算額				
	事業費（直接経費）①		千円		5,590 千円		2,745 千円		
	内 訳 （主な経費を記入）	費	円	需用	費	1,394,687 円	需用	費	1,127,652 円
		費	円	役務	費	1,702,050 円	役務	費	1,320,400 円
		費	円	負担金	費	596,538 円	旅費	費	193,320 円
	人件費 ②		0 千円		3,697 千円		5,371 千円		
	職員割合（7,500千円/人）		人	0 円	0.46 人	3,450,000 円	0.67 人	5,025,000 円	
	職員時間外分		時間	0 円	103 時間	247,200 円	144 時間	345,600 円	
	臨時嘱託（6,200円/日）		人 日	0 円	人 日	0 円	人 日	0 円	
	非常勤職員（4,500円/日）		人 日	0 円	人 日	0 円	人 日	0 円	
	他課の協力分		人 日	0 円	人 日	0 円	人 日	0 円	
	総事業費 ③（①＋②）		0 千円		9,287 千円		8,116 千円		
	特定財源 ④		0 千円		250 千円		180 千円		
	国庫支出金		円		円		円		
	県支出金		円		円		円		
その他の収入		円		250,000 円		180,000 円			
特定財源の根拠		観光宣伝支援事業補助金							
市財源事業費 ③－④		0 千円		9,037 千円		7,936 千円			

活動指標(アウトプット)	活動指標名	単位	平成20年度実績値	平成21年度実績値	平成22年度実績値
	広告掲載	回		40	30
	おもてなし研修会参加者数	人		83	
	キャンペーン数	回		40	50
	広告掲載	回		37,193円/回	54,500円/回
	おもてなし研修会参加者数	人		11,189円/人	
	キャンペーン数	回		69,600円/回	75,600円/回
コスト指標の補足説明			広告掲載(事業費2,745,000円×0.4+人件費5,371,000×0.1)÷回数30回=54,500円/回 キャンペーン数(事業費2,745,000円×0.4+人件費5,371,000×0.5)÷回数50回=75,600円/回		

成果（アウトカム）	成果指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	入込観光客数	人	3,414,700	3,477,600	3,281,300
	指標では表わせない成果	春・秋のイベント開催前に県関係、新聞社、放送局を訪問したり、旅行会社へのセールスなどの観光PRをすることにより、観光客の誘客を図っている。			
施策（上位目標）への影響	観光PRの充実を図ることで、観光PR事業の目的である笠間の知名度アップと通年滞在型の観光客を誘客できる。				
比較参考値（他団体等）	平成22年度茨城県内の入込客数順位（通年）（平成22年度観光客動態調査報告より） 1位 大洗町（5,544,800人） 2位 つくば市（3,541,600人） 3位 ひたちなか市（3,478,200人） 4位 水戸市（3,366,600人） 5位 笠間市（3,281,300人）				
一次評価	区 分	評 価	評価理由の説明（※客観的かつ具体的な理由を必ず記載してください。）		
	必要性	☒ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	笠間の観光をPRするための有効な手段として、旅行会社・新聞社・放送局等の訪問は必要である。		
	有効性	☒ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	訪問先の広告やテレビなどの出演により、即、笠間のPRができる。		
	効率性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い	放送を見聞きした人が、次の日に笠間に来ることが多い。		
その他	事業を廃止した場合の影響	影響の内容とその程度 上記の影響を回避・軽減するための方法	観光地としての観光客の誘客低下となる。		
	評価を向上させるための改善点（評価がすべて「非常に高い」でない場合に、記載してください。）	観光客の誘客のためには、観光PRは必要不可欠であるため代替措置はない。			
	改善により予想される効果	北関東道や茨城空港を活用した地域での積極的なPRを行う。			
		新規観光客の拡大につながる。			
総合評価（担当部長）	今後の方向性	☒ 現行どおり継続 ☐ 改善し、継続 ☐ 休止又は縮小 ☐ 民間に移管 ☐ 廃止 ☐ 事業完了			
	評価理由	広域交通のネットワークが進み、広域的観光のPRや、震災による風評被害を払拭するため、積極的に観光PRを進めて行く。			
意見	庁議意見				

事業名	観光 PR 事業	担当課	産業経済部 商工観光課
-----	----------	-----	-------------

1 事業の目的

笠間の知名度アップと新規観光客の増加を目的に、観光協会及び観光関連団体と連携し、全線開通した北関東自動車道利用者や茨城空港利用者に対して笠間独自の観光PRを実施し、さらに観光客の受け入れ体制の充実を図り、通年滞在型の観光を推進することにより地域経済の発展に重要な役割を担うために観光戦略を展開する。

2 事業の内容

◎北関東（栃木県、群馬県）及び首都圏（東京都、埼玉県、千葉県）更には、北関東自動車道の全線開通による、新潟県、長野県などの上信越方面に対する広報宣伝活動の強化

- ・エージェントに対する観光PRの実施
- ・首都圏のショッピングセンター及び高速道路サービスエリア等におけるPR活動の実施
- ・各種メディアに対する情報提供

◎茨城空港に対する広報宣伝活動の強化

- ・茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会（通称：セブンネット）と連携したPR活動の実施
- ・茨城空港ターミナルビル前で開催する「空の市」におけるPR活動の実施

【キャンペーン風景】



上野駅産直市



柳まつり

3 事業の決算状況

○平成22年度決算状況

内 容	金 額 (円)	備 考
報償費	99,970	観光PR記念品代他
旅費	193,320	キャンペーン等旅費
需用費	1,127,652	観光PRノベルティー代 パンフレット印刷代
役務費	1,320,400	広告料
使用料及び賃借料	3,800	駐車場使用料
合 計	2,745,142	

4 事業の結果

◇平成22年度観光キャンペーン等回数 50回
主なキャンペーン等

期 日	催 事 名	会 場
4/7・8・12・13・15	春のイベントの表敬訪問	群馬県，栃木県，茨城県，埼玉県，千葉県
4/10	北関東自動車道イベント	佐野サービスエリア
5/5	柳まつり	銀座
5/12・14・15・16	いなり寿司PR	イトーヨーカドー土浦，龍ヶ崎，大宮店
7/5	茨城県人会	椿山荘（東京都）
7/31	世田谷区民まつり	馬事公苑（東京都）
8/20・22	麻布十番納涼まつり	麻布十番（東京都）
9/13・14・15	笠間の秋をまるかじり	ふるさと情報プラザ（東京都有楽町）
9/21 10/19	在京レジャー記者クラブ	都道府県会館（東京都）
9/25	北関東道沿線キャンペーン	茨城空港
10/2	MOTO GP観光キャンペーン	ツインリンクもてぎ
10/4・6・12・15	秋のイベントの表敬訪問	栃木県，茨城県，群馬県，千葉県，埼玉県
10/9 3/6	茨城空港 空の市	茨城空港
10/17	茨城の秋観光キャンペーン	おおたかの森SC（千葉県流山市）
10/17	オータムフェスティバル	ひたち海浜公園
10/31 11/20	水戸ホーリーホック	ケーブデンキスタジアム
11/3	矢板ともなひ祭り	栃木県矢板市
11/21	大洗あんこうまつり	大洗町
12/18・23	友部SA，笠間PA キャンペーン	友部SA，笠間PA
1/27・28・29	上野駅産直市	上野駅
1/30	伝統的工芸品展	ミッドタウン（東京都）
2/19	茨城の春観光キャンペーン	イオン与野SC（埼玉県与野市）

◇平成22年度広告掲載回数 30回（新聞18回 タウン誌等12回）

5 今後の課題・方向性

- ・北関東自動車道の全線開通や茨城空港の開港など広域交通のネットワークが進み，北関東及び首都圏，更には上信越方面への広域的観光のPRや，東日本大震災による原発事故に対する風評被害を払拭するため，本市の観光魅力の積極的なPRを実施することにより，観光客の増加を図る必要がある。
- ・東日本大震災により市内，特に笠間地区の宿泊施設が甚大な被害を受け，更に交通網が整備されたことにより日帰り観光客の誘客に向け積極的にPRし，地域経済の活性化を図る必要がある。
- ・笠間観光協会が第2種旅行業登録を行った「笠間発見ツアーズ」を支援して通年型観光地を目指す必要がある。

6 その他

主なキャンペーン連携機関

- 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会
- 水戸・笠間・大洗観光協議会
- 茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会

7 関係法令

笠間市観光振興基本計画

平成 23 年度笠間市事務事業評価調書

【平成 22 年度実施事業】

会計 区分	一般	実施計画 事務事業	○	重要事務 事	○
----------	----	--------------	---	-----------	---

事務事業概要

総合計画項目		コード	2312		評価区分		所管部課名		課内通番		全通番	
政策		2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕			☒ 評価事業 ☐ 評価外事業		産業経済部 商工観光課		No.		No.	
施策 (大)		3. 交通条件を生かした、豊かさを育む商工業を振興します									16	
施策 (中)		1. 商 業			予算科目	商工費		細目名	市街地活性化推進事業			
					項 目	商工費						
					目 目	商工振興費						
施策 (小)		2. 中心市街地活性化事業の推進			事業開始年度		事業終了年度		補助単独の区分		事業費(前3年間)	
									補助		総額 24,953	
事業名		市街地活性化事業			H18		継続事業		補助率(補助の場合)		市費 21,153	
									事業者補助の内県補助2/5		千円	
根拠法令		(政策) 中心市街地活性化法				関連計画 (関係課)		都市計画課				
事業の内容								事業区分		共催者・関係団体		
目 的 (施策目標)		空き店舗解消 市街地内商店街集客				☒ 直営 ☐ 委託(含指定管理)		笠間市商工会, 市内商店会 笠間観光協会, 観光施設		市街地内住民		
対 象		商店会、商業者、市民、観光客、観光施設				☒ 補助						
								事業の背景・環境				
手 段 (インプット)		活性化団体(商工会、商店会など)の支援、空き店舗事業、まちなか周遊事業、食のまちづくり推進				市街地内の活性化に向けた事業として、三地区の市街地内において商業を中心とした活性化事業に取り組んでいる。笠間地区については、旧笠間市で策定した中心市街地活性化基本計画に基づき笠間市商工会において設立したTMOかさまを中心に商店街と連携した事業を実施している。特に、笠間稲荷門前通り整備に合わせた事業を最優先事業として取り組んでいる。岩間地区においても、20年度より駅前すずらん通りの空き店舗やイベント事業などに取り組んでいる。						
事業目標 (アウトプット)		空き店舗数 観光客数 市街地の地価										

投入コスト(インプット)	事業費(直接経費) ①	平成20年度決算額	平成21年度決算額	平成22年度決算額
		千円	5,193 千円	5,362 千円
	内 訳(主な経費を記入)	費 円	補助金 費 3,800,000 円	補助金 費 3,800,000 円
		費 円	需用 費 585,576 円	需用 費 467,000 円
		費 円	委託料 費 264,750 円	備品購入 費 745,500 円
	人件費 ②	0 千円	7,820 千円	6,578 千円
	職員割合(7,500千円/人)	人 0 円	0.86 人 6,450,000 円	0.71 人 5,325,000 円
	職員時間外分	時間 0 円	571 時間 1,370,400 円	522 時間 1,252,800 円
	臨時嘱託(6,200円/日)	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
	非常勤職員(4,500円/日)	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
総事業費 ③(①+②)	他課の協力分	人 日 0 円	人 日 0 円	人 日 0 円
	総事業費 ③(①+②)	0 千円	13,013 千円	11,940 千円
	特定財源 ④	0 千円	1,900 千円	1,900 千円
	国庫支出金	円	円	円
	県支出金	円	1,900,000 円	1,900,000 円
	その他の収入	円	円	円
特定財源の根拠	特定財源の根拠	茨城県商店街再生総合支援事業補助金		
	市財源事業費 ③-④	0 千円	11,113 千円	10,040 千円

活動指標(アウトプット)	活動指標名	単位	平成20年度実績値	平成21年度実績値	平成22年度実績値
	活性化イベント集客数	人		80,000	86,600
	イベント回数	回		13	15
	活性化イベント集客数	人		64.2	57.9
	イベント回数	回		427,423	346,666
	コスト指標の補足説明	活性化イベント集客数1人当りの単価(10,040,000円*0.5/86,600人) 活性化イベント1回当りの単価(10,040,000円*0.5/15回)			

成果（アウトカム）	成果指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	空き店舗開店数		店		6	0
	笠間稲荷門前通り通行者数(11月平日)		人			3,666
	空店舗数 笠間稲荷門前通り商店街内		店		7	8
	指標では表わせない成果		市街地内のまちの魅力創出による滞在時間の増加(売り上げ増効果)			
	施策(上位目標)への影響		売上増加によるまちの活性化			
	比較参考値(他団体等)					
一次評価	区 分	評 価		評価理由の説明(※客観的かつ具体的な理由を必ず記載してください。)		
	必要性	☒ 非常に高い ☐ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		市街地内の集客により商店街への来訪者を増加させ、街の元気を取り戻すためには、必要な事業である。		
	有効性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		笠間稲荷門前通りの整備にあわせ、イベントを行うことによって、街なかへの人の流れを作ることができる。		
	効率性	☐ 非常に高い ☒ ある程度認められる ☐ どちらとも言えない ☐ あまり高くない ☐ 非常に低い		笠間稲荷門前通りのイベントや岩間地区でのイベントが浸透してきて効果が出始めている。		
その他	事業を廃止した場合の影響		影響の内容とその程度	市街地内への人の流れが減少する。		
			上記の影響を回避・軽減するための方法	区画整理や再開発などの行政主導のハード整備によるまちづくり事業。		
	評価を向上させるための改善点 (評価がすべて「非常に高い」でない場合に、記載してください。)		点の事業ではなく、面の事業による集客			
	改善により予想される効果		人の流れの増加			
総合評価（担当部長）	今後の方向性	☐ 現行どおり継続 ☒ 改善し、継続 ☐ 休止又は縮小 ☐ 民間に移管 ☐ 廃止 ☐ 事業完了				
	評価理由	内容の点検と評価および見直しを行いながら継続してほしい。				
意見	庁議意見					

事業名	市街地活性化事業	担当課	産業経済部商工観光課
-----	----------	-----	------------

1 事業の目的

まちの顔である既存市街地は、歴史・観光・商業・コミュニティーなどの場であり、経済的活力の源とも言える地域でもある。経営者の高齢化や後継者不足、さらには、中大型店等の進出による地域外への消費流出などの解決を図り、市街地への集客や居住を増加させることにより、市街地に賑わいを持たせ活力を向上させることを目的としている。

2 事業の内容

笠間地区

市街地周遊事業

市内にある笠間特有の資源を活用し、周遊することにより、笠間地域の既存市街地の課題となっている滞在時間の解消を図る。

春：花（桜・つつじ・藤・石楠花）とイベント（笠間つつじまつり・笠間の陶炎祭など）周遊スタンプラリー事業

夏：キッズ&アニマルズ（夏休みの子ども達をターゲットにした、観光施設や商店街でのクイズラリー）

秋：アートのまちめぐり（県陶芸美術館・日動美術館・春風萬里荘・稲荷美術館の周遊スタンプラリー）

冬：笠間の陶雛～桃宴～（笠間焼の手作り陶雛と商店会の手作り飾り雛のほか、グッズや桃宴限定飲食による周遊

商店街魅力再発見プロジェクト（TMO かさま補助事業）

歩行者通行量調査事業

笠間地区の集客拠点である稲荷神社周辺の、観光バス乗車客の歩行ルート調査を実施。

- ・定点観測 ①稲荷神社・鳥居前，②稲光閣横
- ・観測期間 平成22年5月～平成23年1月 120日間
- ・観測時間 午前9時～午後4時
- ・測定方法 定点観測カメラ画像による目視計測

商店街連携強化事業

商店街が実施するイベントの共同情報発信やイベント間の交流の連携強化として、笠間稲荷門前通り商店街協同組合（辻茶屋、桃宴、ふぁっしょん抄、朝顔プロジェクト、狐の嫁入り、人形浄瑠璃）、大町公園通り商店会（さしろフェスタ）、陶の小径商店会（十六夜まつり、陶のオルゴール展、朝顔プロジェクト、路面喫茶）、やきもの通り商店会（土曜市、登り窯まつり）、弁天町ホープクラブ（道の市）、ギャラリーロード商店会（親子びな展）

笠間焼関連三商店会（やきもの通り商店会・陶の小径商店会・ギャラリーロード商店会）マップ作成事業

商店街景観整備事業

市が計画する道路景観整備事業に併せ、統一的な商店街景観創出を図るため、個店とのコミュニケーションのきっかけ作りとなるよう配慮したのれんと市内で創作活動を実施している若手芸術家等に、笠間の素材による縁台（ベンチ）を委託し設置。

店舗活用事業

若者向け飲食と夜間の“溜り場”的営業。チャレンジショップ2号店は、地産地消型商品の開発販売や笠間発笠間土産商品の開発に取り組み観光客の拠点として事業を展開。

夜の笠間賑い創出事業

短時間滞留型観光客なく、夜型イベントにより新たな観光客層の掘り起こしと宿泊客の増加をめざしたイベントとして、笠間菊あかり回廊を実施。

笠間のいな吉プロジェクト（今年度から別事業）

食の笠間物である「笠間のいなり寿司」を盛り上げる為、イベント（いなり寿司コンテスト・ひょういし選手権・初午いなり寿司まつり）やキャラクターを活用し、全国的にブームとなっている B-1 グランプリ選手権を主宰する「愛Bリーグ連盟」への準会員に登録した。

岩間地区

天狗の夜まつり&ファンタジーナイト（商工会岩間事務所補助事業）

岩間地区の地域資源である愛宕山に残る天狗伝説、合気道の聖地・合気神社、栗の名産地等をキーワードに、商工会青年部・女性部の実施するイルミネーション・キャンドルナイト事業と連携した事業を実施。

天狗夜行

十三天狗と天狗修行をした寅吉少年の伝説を基に山車とともに商店街を行列

イルミネーション&キャンドルナイト

商工会青年部がメイン会場と商店街の各店にも装飾、女性部のキャンドルナイトとして小学生が描いた紙袋にロウソクを入れて展示する事業とコラボレーション

各商店との共同イベント

商店会内数店舗でイルミネーション点灯、閉店時刻を延長し割引セール等を実施。

空き店舗活用

岩間地区の特産品となった「栗焼酎」の販促のため、栗焼酎に合うおつまみコンテストの実施。

栗菓子類販売

一店逸品運動参加店により、栗にちなんだ菓子類を販売

世界のB級グルメコーナー

合気道の聖地のPRとして、合気道場外国人研修生によるお国自慢のB級グルメを提供。

街かどミニコンサート

空き店舗会場の二日目のイベントとして、ミニコンサートを実施。

3 事業の決算状況

○平成22年度決算状況

内 容	金 額（円）	備 考
報償費	214,992	
旅費	86,310	
需用費	464,539	消耗品費 149,114 円 食糧費 16,700 円 印刷製本費 298,725 円
備品購入費	745,500	笠間のいな吉着ぐるみ製作費
負担金補助及び交付金	3,851,000	アートのまちめぐり 51 千円 市街地活性化補助金 3,800 千円（笠間地区・岩間地区） 内県補助 1,900 千円
合 計	5,362,341	

4 事業の結果

市街地周遊事業

市内にある笠間特有の資源を活用し、笠間地域の既存市街地周遊する事業により滞在時間が増加（商店街内店舗談）した。参加者数春周遊：約 1,000 名、夏周遊：約 500 名、秋周遊：約 17,000 名
商店街魅力再発見プロジェクト（TMOかさま補助事業）

歩行者通行量調査事業

歩行者の傾向の実態を把握することにより、商店会全体及び個店での営業戦力（仕入れなど）に効果があった。

商店街連携強化事業

商店街各々の実施事業の連携により、来街者の回遊を図り滞留時間が増大した。

商店街景観整備事業

のれんと縁台の設置により、景観に対する考え方が向上した。のれん 21 店設置、縁台 17 基設置

店舗活用事業

若者向け飲食店は、他の飲食店と比較し予想以上の集客があった。笠間土産物商品開発に取り組む観光客の拠点となった。また、出店者がアドバイザーとして、商店会の中心的存在となった。

夜の笠間賑い創出事業

笠間菊あかり回廊を夜型イベントとしてスタートし、笠間稲荷神社の竹灯り回廊と連携し、新たな来街者の掘り起こしを図った。集客数 6,500 人

笠間のいな吉プロジェクト（今年度から別事業）

笠間名物「笠間のいなり寿司」として、全国的にブームとなっている B-1 グランプリ選手権を主宰する「愛 B リーグ連盟」への準会員にも登録し、イベントの開催などにより、多くのマスコミなどにも取り上げられ笠間 PR の効果になった。また、PR イベントとして実施した「笠間のいなり寿司コンテスト」「ひょいバク選手権」「初午いなり寿司まつり」などを実施し、約 5,000 人を市街地内に集客した。

岩間地区

天狗の夜まつり & ファンタジーナイト（商工会岩間事務所補助事業）

駅前商店街の賑わい創出を目的にしたメイン事業を 11 月 20 日（土）午後 4 時～8 時に実施し、JR 岩間駅 1 日平均利用状況 1,455 人（2009 年参照）を大きく上回る 3,000 人を超える来場者が訪れた。

区域内商店主からは、一時的ではあるが昭和 30 年代の賑わいを思い起こしたとの感想や時計・眼鏡店が電池交換割引セールにより売上が 30 倍となった。また、靴・履物店の割引セールで、倍の売上げや婦人服店のポイント倍進呈セールも倍近い実績となり、地域の個店への経済効果にもなった。

5 今後の課題・方向性

まちの顔ともいえる市街地の活性化を図ることは、文化・商業・観光発展に最も重要な事業であり、震災後の観光客減少などによるダメージも大きく、観光笠間の復興事業として、市の重要課題ともなっているため、空き店舗の増加や後継者不足など大きな課題はあるが、新規参入者を積極的に取り入れるなど常に新たな取り組みを今後も継続していく。

友部地区については、友部駅前など該当する商店主主体の組織を、商工会が中心となり取りまとめていくような支援を実施していく。

6 その他

笠間地区については、門前通り整備計画（都市計画課所管）やギャラリーロード整備計画（建設課）と併せた事業として、門前通りやギャラリーロードなどの商店会と連携した活性化事業を実施。

7 関係法令

笠間地区については、合併以前に「笠間市中心市街地活性化基本計画」「笠間市 TMO 構想」を策定。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

わたしたち笠間市民のねがい

－笠間市民憲章－

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成19年1月1日 制定

笠間市 市長公室 行政経営課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101（内線 558）

FAX 0296-77-1324

URL <http://www.city.kasama.lg.jp>

E-mail gyokei@city.kasama.lg.jp